

憲法しんぶん速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
HPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp/>

第186号

2008年2月13日

Tel 03-3261-9007
Fax 03-3261-5453

「派兵・武力行使恒久法」制定に向け動き急!

自民党は「武力行使法」制定に向け、内閣、国防、外交三部会による「国際平和協力の一般法に関する合同部会」を発足させ、2月13日に初会合を持って法案の内容をめぐる論議を始めました。また、「与党のプロジェクトチームを月内に立ち上げ、民主党とも事前の非公式協議をやりたい（山崎拓党外交政策委員長）」（2・11朝日）としています。与党は、通常国会を念頭に制定に向けた策動を強めており、事態は重大です。

愛知 一事務局・宮さんから通信一

愛知憲法会議は1月26日、「第37回総会」を開催し、40名余が参加しました。記念講演には愛知大学の長峯信彦准教授をお迎えし、「未来に対する現在の私たちの責任—2008年 改憲問題にどう取り組むか—」と題して話していただきました。長峯准教授はまず、最近の若者状況から現在の福田内閣の危険性までの情勢を解説し、「市民の素朴な疑問にきちんと答える応答例」を紹介。さらに「戦争のできる国へと変貌する美しい属国」日本の現状やなし崩し的に憲法が蹂躪される「改憲なき憲法崩壊の時代」に抗してどうするかという方法論として、「9条改定の阻止」という一点に収斂した広範な市民連合（保守派も含めて）を築く必要があると強調しました。最後に憲法は「戦争放棄・戦力不保持・平和的生存権」までセットした「完全装備の豪華客船」であり、特に憲法9条は、日本全体を戦争から遠ざけた「最大の国際貢献をした功労者」に他ならないと結びました。ユーモアを交えながら重く難しい話題をわかりやすく語る講演に、参加者は9条の存在意義を改めて認識することができました。その後、昨年の活動の反省と今年の活動方針を議論し、5・3「憲法フェスティバル2008 in あいち」を成功させ、幅広い市民へ憲法理念を広げていくことを決めました。

愛知、東京と相次いで総会

東京 総会と学習会

東京憲法会議は2月9日、全水道会館で43回総会を開催、約30名が参加しました。総会では有菌代表委員があいさつ、山本幹事長が方針提起を行い、小森香子代表委員が閉会挨拶を行いました。午後からは渡辺治氏、水島朝穂氏が講演、海外派兵・武力行使恒久法の本質、改憲巡る情勢を解明しました。

「武力行使法」特別号が大好評!

—憲法運動2月特別号—

(定価600円)

1月29日、憲法会議は国会内で「海外派兵・武力行使恒久法」の緊急学習会を開催するなど取り組みを強めています。憲法運動特別号は10問10答と豊富な資料を掲載。好評発売中。